

名古屋市天白区周辺におけるアメリカオニアザミの分布

中村 肇

なごや生物多様性センター 〒468-0066 愛知県名古屋市天白区元八事五丁目230番地

Distribution of *Cirsium vulgare* around Tempaku, Nagoya, Aichi, Japan

Hajime NAKAMURA

Nagoya Biodiversity Center, 5-230 Motoyagoto, Tempaku, Nagoya, Aichi, 468-0066, Japan

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail:nakamura@tameike.info

はじめに

アメリカオニアザミ *Cirsium vulgare* (Savi) Ten. は (図1), ヨーロッパ原産のキク科植物で(清水, 2003), 世界の温帯域に広く帰化している(清水ほか, 2001). 国内では, 1960年代に北海道で初めて記録され(清水, 2003), 放牧地や自然度の高い場所で増加して問題となってきた(大阪市立自然史博物館(編), 2014). 人や物資の頻繁な交流に伴って急速に分布域を広げ(清水ほか, 2001), 都市近郊を中心に国内で広く帰化し(高橋, 2001), 愛知県では1990年代に入ってから所々で見かけられるようになった(芹沢・瀧崎, 2012).

本種は, 1回繁殖型の多年草で, しばらくはロゼットで過ごし, 十分に成長した段階で花茎を伸ばして急に成長し, 大きいものでは2m近くになるものもある(大阪市立自然史博物館(編), 2014). 刺が鋭く, 痛くて触ることもできないために除草もままならず(岩槻, 2014), 草地に多く発生し家畜にも害を及ぼすことが問題となっている(清水ほか, 2001).

また, シカによる食害を受けにくく, 駆除も困難で増加が危惧. 国立公園の北海道利尻島など自然度の高い環境にも定着. 住宅地等でもみられることから, 環境省の生態系被害防止外来種リスト(環境省, 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト 掲載種の付加情報(根拠情報) <植物>, http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/fuka_plant.pdf, 2015年3月26日確認)にも選定されている.

本稿では, 筆者が名古屋市市内におけるアメリカオニア



図1. 名古屋市内で生育するアメリカオニアザミ

ザミ分布の現状把握を目標に調査した中から, 名古屋市天白区および周辺地域で行った調査によって得られた結果を報告する.

調査地および調査方法

調査は2015年5月1日から2015年11月30日まで, 名古屋

屋市内の幹線道路沿いにある緑地帯周辺を、徒歩または自転車で移動しながら調査した。また、中村 (2015) に寄せられた生育情報についても、可能な限り現地確認に努めた。しかし、調査に費やせる労力には限りがあるため、今回は名古屋市天白区および周辺地域を重視した。

調査によってアメリカオニアザミが確認された場合には、位置情報を記録するとともに、個体の生育状況が分かる写真を撮影し、採集が可能な場所においては標本作製に努めた。

なお、幼株についてはアメリカオニアザミと同定できる大きさの個体のみを記録し、不確かなものは記録から除外した。

結果および考察

今回の調査で確認したアメリカオニアザミの生育場所を (図2, 3) に示す。

このうち、アメリカオニアザミの群落が確認された場所で共通してみられる特徴として、フェンスや植栽の根

元など、風で飛散した種子が溜まりやすいと考えられる場所であった。さらに、群落から少し離れた場所に点在して生育していることもあり、種子散布の時期の風向きと関係があるのではないかと推察され、これらの個体 (個体群) から発生した種子によって生育範囲を更に拡大していく恐れがある。しかも、皮膚へ簡単に突き刺さるほど鋭い刺を持つことから、抜き取られずに放置されていることも多い。さらに、花茎を伸ばすまでは目立たないため、都市部における身近な自然への関心の低さが、生育範囲の拡大を助長しているとも言える。

また、今回の調査では、アスファルトで舗装された駐車場内のクラック等においても、本種の生育を確認しており、種子さえ定着すれば容易に生育できると考えられる。

すなわち、痛くて触ることができない本種が、都市部でもたらず影響は、「生態系被害」ではなく「人的被害」であり、公園や小学校周辺など、誤って触ってしまう恐れのある場所においては抜き取り等の対策を早急に行う必要があると言える。

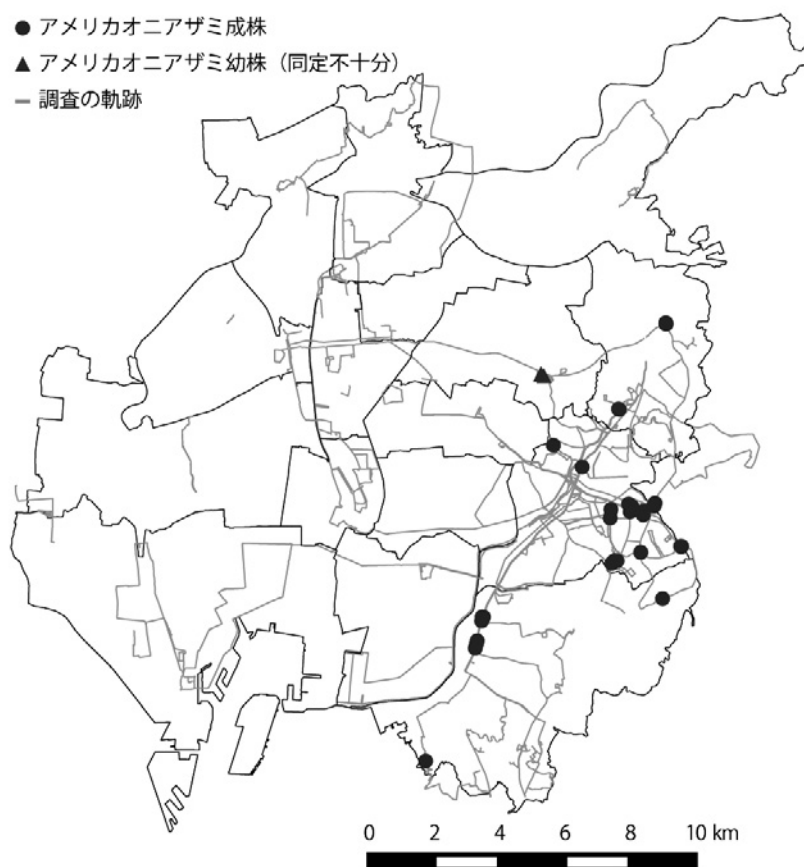


図2. 調査の軌跡とアメリカオニアザミの確認場所

大きく成長し、無数の鋭い刺に覆われた個体によって形成された群落を前にすると、触ることさえ躊躇してしまうため、侵入初期段階で、いかに早く防除できるかが、その後の対策に影響すると考えられるものの、都市部においては逆に難しくなっているのかも知れない。微力ではあるが、標本作製を兼ねて可能な限り抜き取りを試みているものの、その都度「痛っ!」と叫び、涙腺が緩んでいることを補記しておく。

引用文献

岩槻秀明. 2014. 最新版 街でよく見かける雑草や野草がよーくわかる本, pp.258-259. 秀和システム, 東京.
 中村肇. 2015. 痛っ! 街中に生えるトゲのある植物. 生きものシンフォニー いのちかがやくなごや 16号, p.5.

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター, 名古屋.
 大阪市立自然史博物館 (編). 2014. 第45回特別展「ネコと見つける都市の自然」解説書 都市の自然2014, pp.83-84. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
 芹沢俊介・瀧崎吉伸. 2012. アメリカオニアザミ. 愛知県. STOP! 移入種 守ろう! あいちの生態系~愛知県移入種対策ハンドブック~, p.171. 愛知県環境部自然環境課, 愛知.
 清水矩宏・広田伸七・森田弘彦. 2001. 日本帰化植物写真図鑑, p.339. 全国農村教育協会, 東京.
 清水建美. 2003. 日本の帰化植物, p.229. 平凡社, 東京.
 高橋秀男. 2001. アメリカオニアザミ, 神奈川県植物誌調査会 (編). 神奈川県植物誌2001, p.1327. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.



図3. アメリカオニアザミの生育環境

